

かけはし

令和7年度 富士市立今泉小学校
—学校教育目標— 6月号
「やさしく たくましく」

子供が安全に学習できるように

校長

雨に濡れた若葉が、よりいっそう瑞々しく目に鮮やかに映ります。4月に比べると、雨が降る日や気温が高くなる日が多くなり、ともすると汗ばむことがあります。夏に向けて季節は急速に移ろいでいることが感じられます。

先日計画していた学校環境づくり活動は、あいにくの天候のため中止となりましたが、プール清掃は多くの保護者の皆様にご尽力いただき、実施することができました。使用していなかった期間にこびりついたプール槽の壁や床の汚れをブラシでこすったり、プールサイドやフェンスに覆いかぶさるように茂った草を取り除いたり、更衣室やトイレを気持ちよく使えるように掃除したりと、けっこう骨が折れる作業に黙々と取り組んでくださいました。そのおかげで、子供たちが気持ちよく水泳の授業が行える環境が整いました。あらためて感謝申し上げます。

近年は夏の暑さが厳しくなり、体育の授業を行う際に、屋外運動場の活動だけでなく、水泳の授業においても熱中症対策を行う必要があります。プールサイドでWGTP（暑さ指数）を測定し31以上であれば原則中止、また水温と気温の合計が65℃以上になった場合も原則中止（日本水泳連盟による）とされています。そのため、プールサイドの気温を下げるために水を撒いたり、水温を下げるために頻繁に給补水したりして対策をする予定です。また、プールサイドまで水筒をもって行って水分補給をしたり、直射日光を避けて休むことができるようにテントを立てたりして、熱中症への対策も行います。



それでも、7月に入ると猛烈に気温が上昇し、屋外での運動ができなくなる日が生じられるだろうと考え、今年度は水泳の授業を、例年より1週間早く開始するように計画しました。ですから、予定通りにプール清掃を終えることができたことは、冒頭で感謝を述べたような場をきれいにできたことだけでなく、子供たちが安全に学習活動を行うための計画を着実に進められたこととなります。

6月9日の水泳開始までに、救急法講習や緊急時のシミュレーション研修、実際に動かしながらの機械操作方法確認などで職員の知識や意識を高めるとともに、複数の教員で指導に当たれるように時間割を変更して水泳の授業に臨みます。

ご家庭でも、水着への記名や、爪や髪を整えたり持ち物をそろえたり、朝の体調を確認して印の付けたプールカードを持たせたりと、普段より気を配ることが多くなりますが、安全に楽しく水泳の授業が行えるようご協力をお願いします。

※今年度もプールの安全見守りボランティアを募集する予定です。詳しくはCSDから案内を出します。暑い中で大変ですが、できる方は少しでもご協力ください。

今年度の重点目標
「やってみよう あなたもわたしも 笑顔いっぱい」を達成するために

心を育てる(生徒指導)

子供たちの心を育てるため、1年間を3つのステージに分け、それぞれのステージに重点項目を設けて取り組んでいます。第1ステージ(4月～7月)は「挨拶・言葉遣い」、第2ステージ(8月～12月)は「安全」、第3ステージ(1月～3月)は「感謝」です。これまでのところ、「〇〇先生、おはようございます。」と進んで挨拶する子がいる一方で、言葉遣いが気になる子も多少見られます。今後も子供たちの自発的、主体的な成長を教職員一丸となって支えていきます。

また、いじめを認知した場合には、「どのような理由があろうとも、絶対に許されない行為」として認識し、迅速に対応します。また、年3回のアンケートや全児童との面談を通して、いじめ問題の未然防止、早期発見・早期対応に努めます。ご家庭におかれましても、お子様の思いに寄り添い、何か心配なことがある場合は、遠慮なく学校にご相談ください。

学びをつくる(学習指導)

「対話を通して考えを深める授業」を目指しています。

「対話」は、「他者と」だけするものではありません。自分自身の経験や考えそのものと対話することもありますし、「教材(もの・こと)」と「先哲と」じっくり向き合い、対話をすることもあります。その中で、すぐには答えの出ない問いであっても、投げ出すことなく、試行錯誤しながら、**ねばり強く**取り組む子を育てていきたいと考えています。また、筋道立てて考え、根拠・理由・主張の3点セットで相手に伝えることができる、**論理的思考力・表現力**を着実に身に付ける学習となるよう努めています。3点セットを使って相手に伝えることができるというのは、教科書にある文章や言葉、絵や図、データなど(根拠)に、自分が知っていることや経験したこと(理由)を結び付けて、自分の意見や考え(結論)を述べるができるということです。

さらに、実物に触れたり、実際に体験したりして、より実感を伴った学習となるように配慮しています。また、タブレットなどのICT機器を積極的に活用し、思考力・判断力・表現力を磨くことができますようにしています。

ご家庭におかれましても、お子様の学びにおける「対話」を積極的に受け止め、興味関心の翼を広げる声掛けや支援をお願いします。

関係をつくる(特別活動指導)

一人として同じ顔の人がいないように、自分と全く同じ考えの人はいません。大きな声や多数派に迎合するのではなく、**多様な考えを生かす建設的な話し合い**を通して、合意形成を図ったり、意思決定をしたりしながら、**よりよい人間関係を築いていく**力を育てていきたいと考えています。

そのため、学級会や児童会での話し合い活動を大切にしています。代表委員会の様子は、国会中継しながら全校に配信することで、自分事として捉えられるようにし、主権者教育の一端を担います。また、係活動や委員会活動では、創意工夫ある自主的・実践的な取組となるよう励ましています。

さらに、異年齢集団での交流を通して、互いに刺激し合う場を設定し、励ましたり教え合ったりする関係を深めるため、各種行事を、たてわりグループで行います。

5年生 学年総会の様子

ご家庭におかれましても、お子様がどんなアイデアをもって係活動や委員会活動に取り組んでいるか、たてわり活動でどんな気づきがあったか等、話題にしていだけましたら幸いです。

地域とともに コミュニティ・スクール

今泉ならではの豊かな地域材に目を向けて、理解を深めるとともに、この土地に暮らしていることに誇りや愛着をもち、地域のために自分も何か役に立ちたいという思いをもつことができるようにしていきます。

「笑顔いっぱい」の今泉になるよう、地域の皆様、保護者の皆様のお力添えをよろしくお願いします。

学校運営協議会委員の皆様